



松原のいかず 建設委員会討論

平成26年度 岐阜市一般会計、特別会計決算認定

駅西駐車場費用は、駅前活性化に見合った金額か？

反対討論「第113号議案 平成26年度岐阜市一般会計、特別会計歳入歳出決算認定についてです。岐阜市駅西駐車場の起債元金は平成34年には返済される計画です。が、平成26年度実績では、支出にしめる償還金等の額は約3億7300万円、設備の維持管理費の額は約1億7000万円。対する収入は一般会計繰入額は約3億7500万円、年間使用料収入は約1億6850万円とのことです。平成21年度からの資料日平均駐車台数は600台少々で変化はありません。

建設から15年余経過しますが、償還金、26年度で言えば約3億7300万円のために毎年一般会計から同額、もしくはそれ以上に繰り入れるトンネル会計になっています。維持管理費、26年度で言えば約1億7000万円は、年間収入を上回る。収入だけでは維持管理も出来ない設備です。

1台を駐車するのにどれ程の税金が消費されているか、その金額が駅前の活性化への投資として見合ったものとなっているかの考察が必要です。現状は当初計画台数1445台の1/2以下であり、維持費は変更計画の2倍以上。繰り入れ額は23倍になっています。

劇的改善は見込めないとするなら、損失を最小限に抑える準備が、事業撤退も含めて、されなければなりません。考察もなく平成34年を迎えることは許されないと考えます。現状では、その準備が十分出来ているとは言えません。議案には、残念ながら賛成できません。」



戦争法反対
街頭行動
(十六銀行本店前)

連絡先 岐阜市議員 松原のいかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

一点、ご指摘申し上げます。

討 論 「第116号議案 平成26年度岐阜市水道事業会計決算認定について、です。

質疑の中で『下水道施設・北部プラント（昭和41年処理開始）が地震等で破壊された場合に、近くの上水道一日市場水源地（昭和62年改築）へ悪影響・汚染が及ぶ』と説明されました。しかし、その『**危険が認識された時期**』を『**明確に説明出来ない**』とも、今委員会で答弁されました。

市民の健康を最重要に考えるべき飲み水・上水道の管理者として汚染の危険への認識が、少なくとも昭和62年以降でも不明確では、最優先すべき工事への判断を誤っていたのではないかと、この指摘も受ける事になります。

雄絵水源地と相互連絡があり、給水に支障がないと答弁するとしても、『**汚染の危険性の認識時期が不明確**』である弁明になりえません。同時に、汚染防止の上水道工事（全体の）が今日まで完結されていたとも考えにくい事になります。それは、質疑の中で北部プラントと一日市場水源地の建設時期を質問した時に、基本的な質問に即座に答弁できない事態にあります。市民の命の水を守る上水道管理者として、設備の実態把握が不十分と指摘せざるをえません。

『下水道設備の破損が上水水質の悪化に及ぶのを防止』することを、『下水道設備の耐震化の理由』として説明されています。しかし、**地震事故以前の問題、上水道設備の強化の問題として認識されるべきものです**。上水設備実態を把握され、上水道工事の優先順位に誤りの無い計画策定をされるように、ご指摘申し上げます。 議案には賛成します。」



松原のりかず
☎058-253-2500